

## 中小企業景況調査(2016年3月) 要約版

[概況] 中小企業の売上げDIは、3カ月ぶりにマイナス  
売上げ見通しDIは、マイナス

### 1 売上げ

2016年3月の売上げDIは、前月(4.9)から6.9ポイント低下し、▲2.0となった。マイナスとなるのは、3カ月ぶりである。  
今後3カ月(3月~5月)の売上げ見通しDIは、前月(▲0.7)から3.5ポイント低下し、▲4.2となった。

### 2 利益

利益額DIは、前月(3.6)から3.8ポイント低下し、▲0.2となった。マイナスとなるのは、15カ月ぶりである。

### 3 価格、雇用、生産設備

販売価格DIは、前月(▲3.5)から1.7ポイント低下し、▲5.2となった。  
仕入価格DIは、前月(▲6.7)から3.4ポイント上昇し、▲3.3となった。  
従業員判断DIは、前月(14.4)から9.6ポイント低下し、4.8となった。  
生産設備判断DIは、前月(▲4.4)から2.2ポイント低下し、▲6.6となった。

※調査の全文につきましては、[こちら](#)をご覧ください。

＜調査の要領＞	調査時点	2016年3月中旬
	調査対象	三大都市圏の当公庫取引先900社(首都圏454社、中京圏142社、近畿圏304社)
	有効回答企業数	621社
	回答率	69.0%

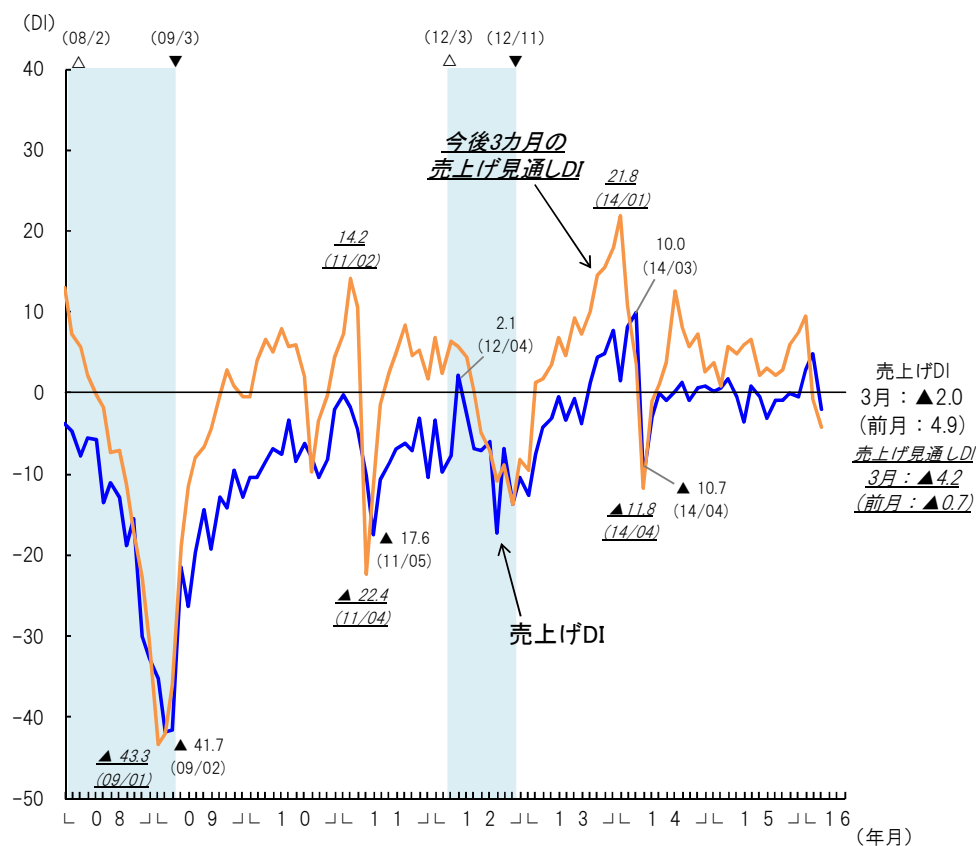
#### ＜お問い合わせ先＞

日本政策金融公庫 総合研究所 中小企業研究第一グループ Tel:03-3270-1704(担当:江連、神谷)  
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティノースタワー

本資料は日本銀行内金融記者クラブ、経済研究会(内閣府)に同時配布しております。

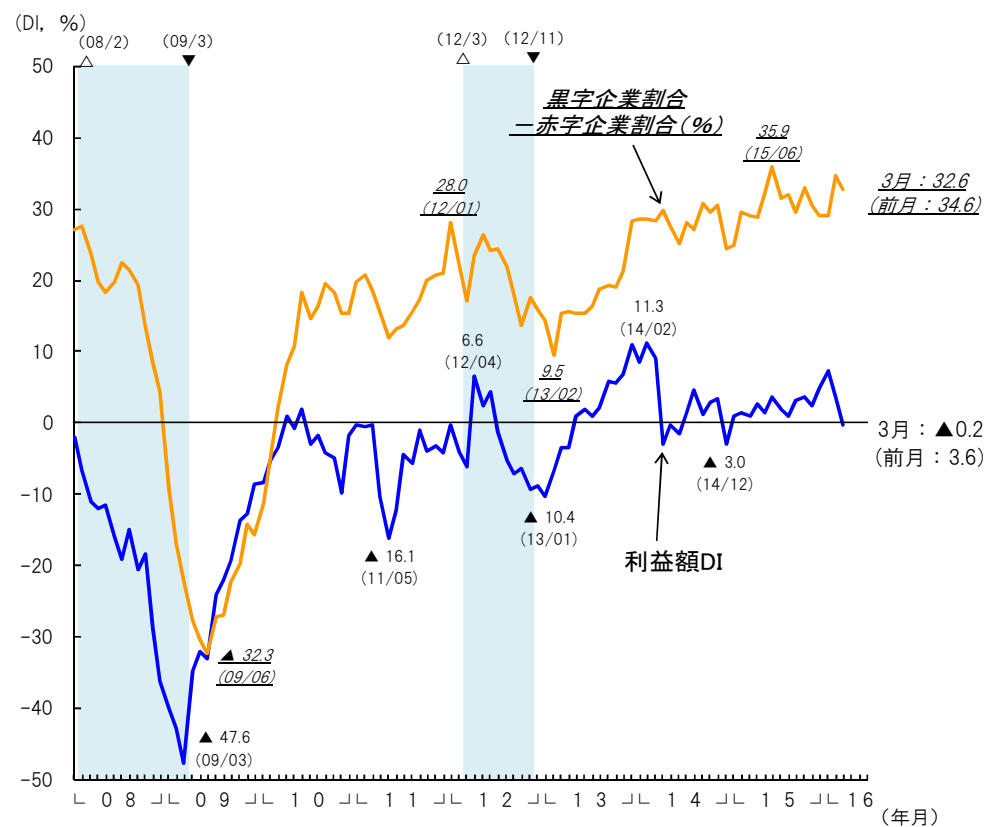
- 売上げDI(「増加」-「減少」)は、▲2.0と、前月(4.9)から6.9ポイント低下した。
- 売上げ見通しDI(「増加」-「減少」)は、▲4.2と、前月(▲0.7)から3.5ポイント低下した。
- 利益額DI(「増加」-「減少」)は、▲0.2と、前月(3.6)から3.8ポイント低下した。
- 黒字企業割合-赤字企業割合は、32.6と、前月(34.6)から2.0ポイント低下した。

図-1 売上げ及び売上げ見通しの動向



- (注) 1 売上げDIは前月比で「増加」-「減少」企業割合(季節調整値)。  
 2 今後3カ月の売上げ見通しDIは過去3カ月の実績比で「増加」-「減少」企業割合(季節調整値)。  
 3 △は景気の山、▼は景気の谷、シャドー部分は景気後退期を示す(以下同じ)。

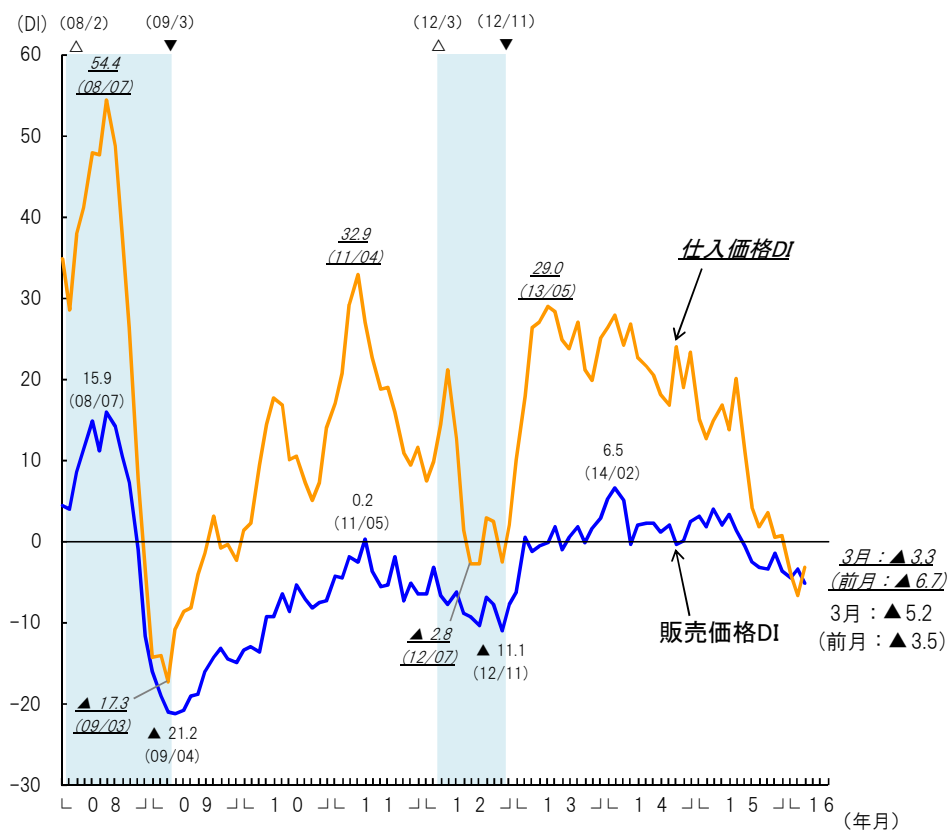
図-2 利益の動向



- (注) 1 利益額DIは前月比で「増加」-「減少」企業割合(季節調整値)。  
 2 黒字および赤字の判断については最近3カ月の実績による(季節調整値)。

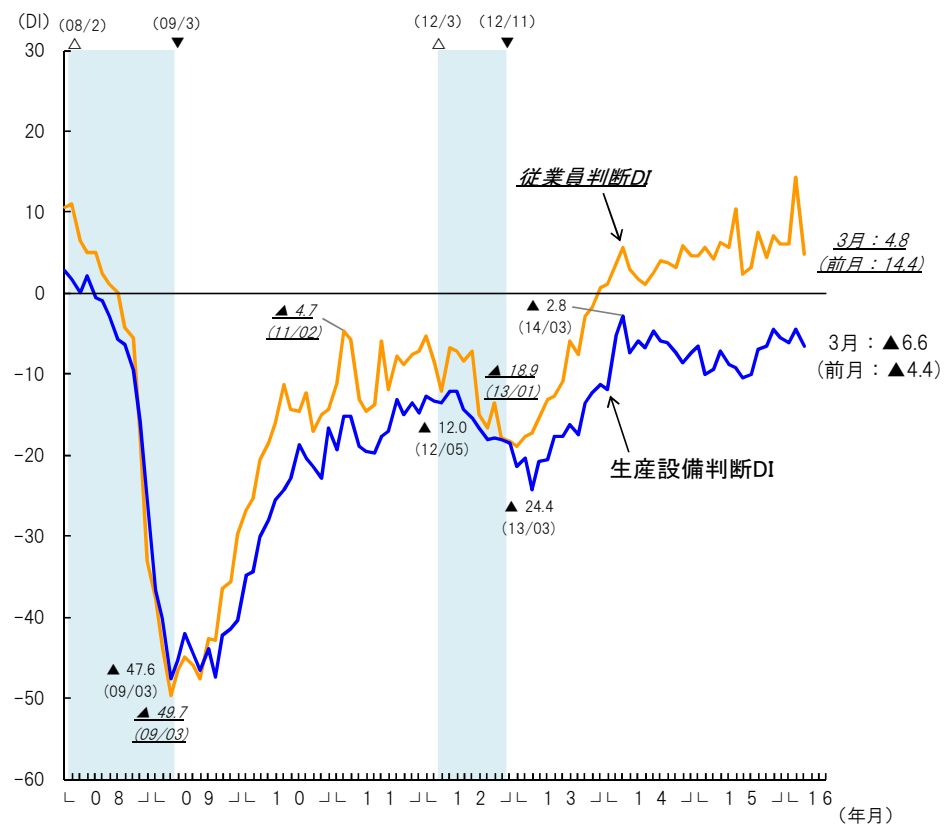
- 販売価格DI(「上昇」-「低下」)は、▲5.2と、前月(▲3.5)から1.7ポイント低下した。
- 仕入価格DI(「上昇」-「低下」)は、▲3.3と、前月(▲6.7)から3.4ポイント上昇した。
- 従業員判断DI(「不足」-「過剰」)は、4.8と、前月(14.4)から9.6ポイント低下した。
- 生産設備判断DI(「不足」-「過剰」)は、▲6.6と、前月(▲4.4)から2.2ポイント低下した。

図-3 販売価格、仕入価格の推移



(注) 1 販売価格DIは前月比で「上昇」-「低下」企業割合。  
2 仕入価格DIは前月比で「上昇」-「低下」企業割合。

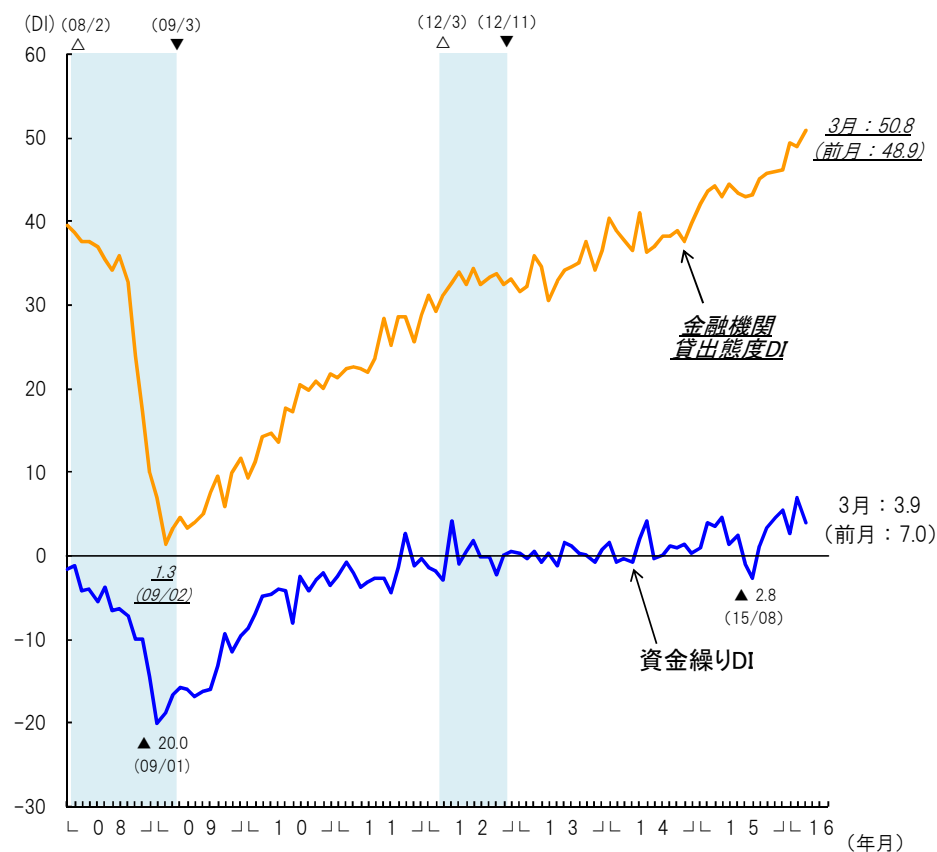
図-4 従業員状況、生産設備の判断



(注) 1 製造業の数値。  
2 従業員判断DIは「不足」-「過剰」企業割合(季節調整値)。  
3 生産設備判断DIは「不足」-「過剰」企業割合(季節調整値)。

- 資金繰りDI(「余裕」-「窮屈」)は、3.9と、前月(7.0)から3.1ポイント低下した。
- 金融機関貸出態度DI(「緩和」-「厳しい」)は、50.8と、前月(48.9)から1.9ポイント上昇した。

図-5 資金繰り状況と金融機関貸出態度



- (注) 1 資金繰りDIは「余裕」-「窮屈」企業割合(季節調整値)。  
 2 金融機関貸出態度DIは「緩和」-「厳しい」企業割合。